

〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和5年度 小・中学校教育課程研究協議会

- 日 時：小学校 令和5年9月15日（金）13：30～16：00
中学校 令和5年9月 8日（金）13：30～16：00
- 会 場：かしま交流センター（南相馬市原町区横手字川原186-1）
- 参加者：小学校30名、中学校18名 義務教育学校6名 特別支援学校4名 合計58名
- 内 容：講義1 資質・能力の確実な育成をめざす「学びの変革」
講義2 多様性を認め、可能性や個性を伸ばす教育課程
研究協議 テーマ1 「学びの変革」に向けた取組
テーマ2 自校の教育課程の編成及び実施上の課題

【研修のまとめ】

「個別最適化された学び」「協働的な学び」「探究的な学び」の視点での授業改善を図り、教育課程編成及び実施上の課題へ対応するために、以下のことに取り組んでいきましょう。

- 「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という探究的な学習における学びの過程を、各教科等の学習において**具体的に想定して位置づけたり、改善したりして「学びの変革」を進めること。**
- 「障害のある子供の教育支援の手引き」を活用し、一人一人の教育的ニーズを把握して教育課程を編成したり、合理的配慮をしたりして**すべての子どもが達成感・充実感を味わうことのできる学習を行うこと。**

研修の感想

- **探究的な学びの視点でお互いの授業を見合い**、求める子どもの姿、学習の在り方を共有していきたい。
- まずは**自校の強みや子どもたちの実態を把握し、全職員で共有**することがカリキュラム・マネジメントの充実につながり、「学びの変革」につながると感じた。
- 学びの変革に向けて、まずは**教師の授業に対する考え方を**変えていくことが大切だと思った。
- 「例年通り」という考え方で教育活動を進めがちだが、今までの当たり前を見直すことが大切だと思った。1年で教育課程を一新するのは難しいが、**普段から職員室等で日々の教育活動について成果と課題を話し合い、少しずつ改善を加えていくこと**はできると思った。
- PDCAサイクルが大切であることは理解しているものの、自校では特に**アクションの足りなさ**を感じた。今後は**分析から実践へつなげることができるよう努力**していきたい。

